

小學珠算教科書

鈴木交茂著
二

館務會
七
309
冊號架函

K120.44
9
2

K120.44

9

2

明治二十二年一月出版

鈴木文茂著述

小学珠算教科書

三書堂梓

小学珠算教科書卷二

教師須知

第一教授上一般の注意

一 珠算教授法を別ちて口演筆述の二法といふ口演法といふ教師問題の主意を述べて示すものを云ひ筆述法といふ問題を書板して示す者を云ふ而して口演法の教授の時間と筆記の労とを省き且日用の實算小益あるものと遙に筆述法は優るものあるは通常多くは口演法よりよく教授するを可といはれ但し口演法と雖も時宜ふより其數量を書板するもあつて可い

二 運算を授くるは常に数理の觀念と密着せしめんことを要し故に兒童をして一運算を授けしむるときは

W014925

明治二十二年一月出版

鈴木文茂著述

小学珠算教科書

三書堂梓

小学珠算教科書卷二

教師須知

第一教授上

の注意

一珠算教授法

の二法と口演法との

教師問題の

意を述べた

問題と書板

の用を述べた

時間と筆記

の用を述べた

遙に筆述法は優るものなきは通常多くは口演法より

アキ教授をも可といはれ但し口演法と雖も時宜ふらり

其數量を書板するもあつらふべし

二運算を授くるは常小數理の觀念と密着せしめんとす

とを要し故に兒童を以て一運算を授くるもあつらふべし

卷二

教師須知



詳に其解算の理由を述べ、め以て憶測無心の計算が流れざる様注意すべし

三本書著述の順序へ先づ諳算を以て諸則の端緒を開き次み其運算法を示し進て應用に及ぼせりと雖も諳算ハ唯其初歩として授くるのみあらば進歩の度は應じ終始之を練習せんしとを要し蓋し諳算ハ心力の練習及日用の實算に最補益あるべきなり

四本書載する所の例題ハ教授上の順序を示しを以て主眼とするが故み其數取て多きを貪らず依りて教授者は能く此順序に注意して亦まに倣ひ其例題を撰擇すべし

五例題は應用着實を主とするを以て事實ハ土地の情況より物價は時の相場より撰擇すべし且運算と諳算とを問ひ其問題ハ常に虚數のもののみを撰ずべし

六例題を撰擇するに當り將み授りんとする所は既み授りたるものに連絡し又次み授りんとす根據とすべし如く一歩を進む毎み前法を適用附加して成るべく其運算を促さんとしてを要し

第二本巻教授上の注意

一著述の順序

甲諳算 實數の觀念と密着し簡單なる事實よりして二個以上の數の加へ方を練習せしめ以て算盤上計算の豫習とす

七加法の應用
八加法の試験

二 十位數より其一位或ハ各位の和上位に進み且零を得るもの及諸算

三 十位數より其一位或ハ各位の和上位に進み且零を得るもの及諸算

四 十位數の單位零ありても併せて授

五 雑例

六 速算法

七 加法の應用

八 加法の試験

二 運算の一則を授けるときは該則を適用すべき諸種の術例を課し十分熟練の後ふあらざれば他の法を授けべからし例へば六ふ七足して十三を得るの一例を授けたるときは次ふ十六ふ七足し或ハ六ふ三十七足等の術例を課し練習せしむるが如し

三 加法を練習せしむるにハ先づ等位數のものを課し後ち異位數ふ及ぼしを以て順とすと雖も日用の計算上ふ於てハ異位數のもの多し等位數のもの却て稀あり故ふ本卷ハ之を雜出して練習せしむるあり且算

者と讀者と別人あるハ稍繁劇の世務ありて平生一家内の計算ハ一人ふてあすとの多々れハ本編速算法と題する一課の外ハ務めく書板したる數量を見て計算するに慣れむべし

小學珠算教科書卷之二

金澤 鈴木交茂 著

第三編 加法諸算

第一節 卷之一ニ於テ既ニ計籌ヲ以テ物數ヲ合シ或ハ減スルノ法ヲ説明セリ今ヨリ計籌或ハ其他ノ器具ヲ用ヰス只胷中ニ於テ合スルノ法ヲ示サントス此法ヲ名ケテ諸算或ハ心算ト

云フ假令ハ石五個ニ三個ヲ合セントセハ先ツ
五個ノ計籌ヲ出シ又三個ノ計籌ヲ出シテ後チ
通シ計フレハ八個ナルヲ知ルヘキナリ然ルヲ
其計籌ヲ用キスシテ先ツ始ノ五個ヲ冑中ニ記
憶シ後チ之ト三個トヲ通シ計フヘシ即五個ヲ
原トシ六個七個八個ト通計スヘシ

例題 其和十個ニ充サルモノ

(注意) 此例題ヲ授クルニ際シ加フ合ス足ス
寄ス集ム増ス等ノ數語ヲ交々相用キ以テ各
語ノ同意ナルヲ知ラシムヘシ

- 一 馬四匹ニ二匹ヲ合セハ幾匹ナリヤ
- 二 竹六本ニ一本ヲ足セハ幾本ナリヤ
- 三 火鉢七個ト二個トヲ合セハ幾個ナリヤ
- 四 筆三本ト四本ト集ムレハ幾本ナリヤ
- 五 書物二冊ニ五冊ヲ増セハ幾冊ナリヤ
- 六 犬三足ト五足トヲ寄スレハ幾足ナリヤ

第二節 譜算ヲ尚能クセンニハ須ク左ノ五件
ノ表ヲ記憶スヘシ

- 第一 一ニ九足スノ十 九ニ一足スノ十
- 第二 二ニ八足スノ十 八ニ二足スノ十

一ニ何足	セハ十ト	ナハ十ト	ニ何足	セハ十ト	ナハ十ト	云
------	------	------	-----	------	------	---

第三 三ニ七足スノ十 七ニ三足スノ十
 第四 四ニ六足スノ十 六ニ四足スノ十
 第五 五ニ五足スノ十

右五件ハ此迄ノ經驗或ハ現今ノ實力ヲ以テ其然ルヲ知ルナルヘシ今此五件ヲ用キテ諳算ニ便益アルヲ示ス左ノ如シ

第一例 皿八枚ト五枚トヲ合セハ幾枚ナリヤ
 第二ニ因テ八ニ二足スノ十ナルヲ知ル故ニ其十ヲ記憶セヨ其二ハ五ヨリ分ケ取レルナリ五ヨリニヲ取ラハ其残りハ三ナルヘシ

然ラハ八枚ト又五枚ノ内ノ二枚トヲ取テ七枚トナリ尚其他ニ三枚残レルヲ以テ八枚ト五枚トヲ合セハ十三枚ナルヲ知ルヘシ

第二例 茶碗六個ニ七個ヲ増セハ幾何ナリヤ
 第四ニ因テ六ニ四足スノ十ナルヲ知ル又七ヨリ四ヲ取レハ三残ルヘシ故ニ六個ニ七個ヲ増セハ十三個ナルヲ知ルヘシ

例題

一 鶏八羽ト三羽ヲ集ムレハ幾羽ナリヤ
 二 着物七枚ト五枚トヲ合セハ幾枚ナリヤ

三物數九ツト五ツトヲ寄スレハ幾ナリヤ

四花五本ト六本トヲ合セハ幾本ナリヤ

五紙六枚ト八枚トヲ集ムレハ幾枚ナリヤ

六金魚七尾ニ九尾増セハ如何

七鳥六羽ト八羽集マラハ如何

第三節 今ヨリ三項ノ數ヲ合スル法ヲ示サントス即左ノ如シ

(第一例) 筆三本ト五本ト八本ト合セハ幾本ナリヤ

先三本ト五本トヲ合セハ第一節ノ如クシテ

本ナルヲ知ル又此八本ト所題ノ八本ト合セ

第二節ノ如クシテ十六本ナルヲ知ルヘシ故ニ

三本ト五本ト八本トヲ合セハ十六本ナリ

(第二例) 傘六本ト七本ト八本トヲ集ムレハ幾

本ナリヤ

先六本ト七本トヲ集ムレハ第二節ニ因テ十三

本ナルヲ知ル其十本ハ別ニ記憶スヘシ而シテ

残りノ三本ト八本トヲ集ムレハ又第二節ニ因

テ十一本ナルヲ知ル之ニ前ニ記憶スル所ノ十

本ヲ増スヘシ然ラハ即二十一本ナリ故ニ六本

ト七本ト八本トヲ集ムレハ二十一本ナルヲ知

例題

一 小刀五本ト二本ト七本トヲ合セハ幾本ナリ

ヤ

二 紙八枚ニ四枚足シ又六枚足ス片ハ總テ幾枚

ナリヤ

三 下駄六足ト八足アリ之ニ五足増サハ總テ幾

足ナリヤ

四 物數九個ト八個ト七個トヲ集ムレハ幾何ナ

リヤ

五 草紙五冊ト九冊ト六冊トヲ合セハ如何

六 杖八本ト四本ト九本トアリ合セテ幾本ナリ

ヤ

第四節 四項以上ノ數ヲ合スルモ亦第三節ノ

如ク第一節第二節ヲ復用スヘシ

例題

一 筆六本ト三本ト二本ト七本トアリ合セテ幾

本ナリヤ

二 系八把ト七把ト五把ト三把トアリ合セテ幾

把ナリヤ

三硯三面ト八面ト六面ト四面ト五面トヲ合セハ幾面ナリヤ

四米拾五俵ニ八俵増セハ幾俵ナリヤ

五紙鳶六枚ニ十七枚ヲ増セハ幾枚ナリヤ

六左ノ諸數ヲ合スヘシ

- (一) 五、七、十一、
- (二) 三、十二、一、六、
- (三) 三、四、六、五、八、
- (四) 九、六、七、五、四、
- (五) 八、四、七、九、
- (六) 二、十七、六、一、
- (七) 十八、十一、
- (八) 十五、十二、
- (九) 十三、十一、七、
- 十) 十二、九、十五、

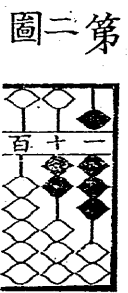
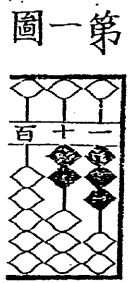
第四編 加法

第一節 前編ニ於テ既ニ加法ノ諳算ヲ示シタリト雖之ハ僅少ノ數ヲ加フルニノミ便ニシテ稍多キ所ノ數ニ至テハ以テ便ナリトスヘカラ。ス故ニ今前卷ニ於テ示セシ所ノ算盤ヲ用テ更ニ加法ヲ示サントス

第一課 十位數ニシテ各位ノ和上位ニ進マサルモノ且其十位數ハ單位必ス零ナラサルモノ及諳算

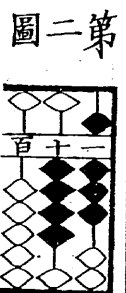
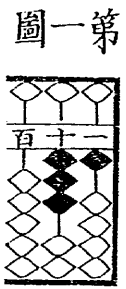
(第一例) 麦二十三俵アリ之ニ五俵ヲ合セハ幾

依ナリヤ



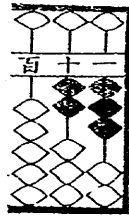
先第一圖ノ如ク二十三俵ヲ算盤上ニ置クヘシ
次ニ其單位ノ三個ニ五個ヲ増ス即梁上ノ一顆
ヲ下スナリ而シテ第二圖ヲ得今此第二圖ヲ計
フルキハ即二十八個ナリ故ニ二十三俵ニ五俵
ヲ合セハ二十八俵ナルヲ知ルヘシ

第二例 木綿三十一端ニ十七端ヲ増セハ幾端
ナリヤ

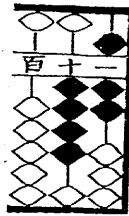


先第一圖ノ如ク三十一端ヲ算盤上ニ置クヘシ
次ニ其十位ノ三個ニ一個ヲ増シテ四個トナシ
單位ノ一個ニ七個ヲ増ス即梁上ノ一顆ヲ下シ
梁下ノ二顆ヲ上ケ而シテ第二圖ヲ得今此第二
圖ヲ計フルキハ即四十八個ナリ故ニ三十一端
ニ十七端ヲ増セハ四十八端ナルヲ知ルヘシ
第三例 牛二十三疋ト二十四疋トヲ寄スレハ
幾疋ナルヤ

第一圖



第二圖

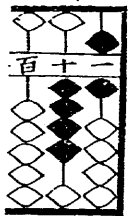


先第一圖ノ如ク二十三疋ヲ算盤上ニ置クヘシ
 次ニ十位ノ二個ニ七個ヲ増シテ四個トナシ單
 位ノ三個ニ四個ヲ増ス之ヲ増サント欲セハ梁
 下ノ算珠足ラサルヘシ故ニ梁上ノ一顆ヲ下ス
 然スル件ハ四個増スヘキニ五個増シタリ故ニ
 過ル所ノ一顆ヲ梁下ニ去リ即第二圖ヲ作ルヘ
 シ而シテ之ヲ計フレハ四十七個ナリ故ニ二十
 三疋ト二十四疋トヲ寄スレハ四十七疋ナルヲ

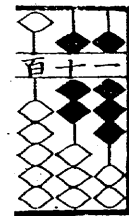
知ルヘシ

第四例 米四十六俵ニ三十二俵ヲ増セハ幾俵
 ナリヤ

第一圖



第二圖



先第一圖ノ如ク四十六俵ヲ算盤上ニ置クヘシ
 次ニ十位ノ四個ニ三個ヲ増ス之ヲ増サント欲
 スルモ梁下ノ算珠足ラサルヘシ故ニ前例ノ單
 位ト同シク梁上ノ一顆ヲ下ス然スル件ハ三個
 増スヘキニ五個増シタリ故ニ過ル所ノ二個ヲ

梁下ニ去リ以テ七個ヲ得次ニ單位ノ六個ニ二個ヲ増シテ八個トナシ而シテ第二圖ノ如ク七十八個ヲ得故ニ四十六俵ニ三十二俵ヲ増ス片ハ七十八俵ナルヲ知ルヘシ

例題

一書物五十六冊ニ三十二冊ヲ増セハ幾冊ナリ

ヤ

二鳩三十七羽ニ十二羽増セハ幾何ナリヤ

三傘八本ニ七十一本足セハ幾本ナリヤ

四笠二十四蓋ニ十三蓋合セハ幾蓋ナリヤ

五米三十六俵ニ二十三俵ヲ合セハ何程ナリヤ

六筆五十四本アリ之ニ二十二本増ス片ハ何程ナルヘキヤ

ナルヘキヤ

七紙四十六枚ト二十二枚トアリ合セテ何程ナリヤ

リヤ

八墨十七挺ト四十一挺アリ合セテ何程ナリヤ

九米十二石ト二十一石ト四石トアリ合セテ何程ナリヤ

程ナリヤ

十麦七石ト三十一石ト四十一石トアリ合セテ

何程ナリヤ

士金四十三錢ト三十四錢トアリ合セテ何程ナ
リヤ

士金三十二錢ニ四十四錢ヲ増ス其ハ總テ何程
ナルヘキヤ

士金三十三錢アリ之ニ三十四錢ヲ増ス其ハ總
テ何程ナルヘキヤ

古金二十一錢ト十二錢ト四十三錢トアリ合セ
テ何程ナリヤ

五茶二十二斤ト十二斤ト三十二斤トアリ合セ
テ何程ナリヤ

其茶四十二斤ト十三斤トアリ之ニ二十一斤ヲ
足セハ何程ナリヤ

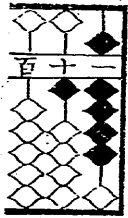
七茶三十一斤ト十二斤ト十一斤ト二十三斤ト
アリ合セテ何程ナリヤ

六茶十三斤ト三十一斤ト二十二斤ト三斤トア
リ合セテ何程ナリヤ

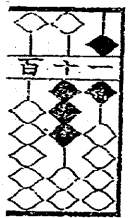
第二課 十位數ニシテ其一位或ハ各位
ノ和上位ニ進ミ其位零ナラサルモノ共ニ十
位數ノ單位零ナルモノ及諸算

第一例 金十九錢ト十七錢トヲ合セハ幾何

第一圖



第二圖



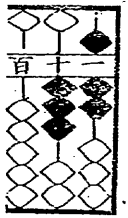
先第一圖ノ如ク十九錢ヲ算盤上ニ置クヘシ次ニ其十位ノ一個ニ一個ヲ増シテ二個トナシ而シテ單位ノ九個ニ七個ヲ増スヘシ之ヲ増サント欲セハ其桁ノ算珠足ラサルナリ此ノ如キハ須ク左ノ法ヲ用弁ヘシ

増サント欲スルセヲ以テ第三編第二節ノ表ニ因リ三足スノ十ナルヲ知り以テ本桁ヨリ三個去テ六個トナスヘシ然ラハ其去リタル三個ト増スヘキ七個ト合セテ十個尚本桁即單位ニアリ而シテ單位ノ十個ハ即十位ノ一個ナル故ニ再ヒ十位ノ二個ニ一個ヲ増シテ三個トナシ以テ第二圖ヲ得

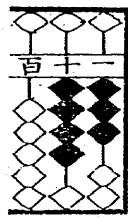
是ヲ以テ十九錢ト十七錢トヲ合セテ三十六錢ナルヲ知ルヘシ

第二例 米三十七石ニ六石ヲ増セハ幾何

第一圖



第二圖

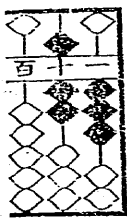


先第一圖ノ如ク三十七石ヲ算盤上ニ置クヘシ

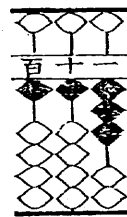
次ニ單位ニ六石ヲ増サントスルモ其桁ノ算珠足ラサルナリ故ニ第三編第二節ノ表ニ因リ六ニ四足スノ十ナルヲ以テ本桁ヨリ四個ヲ去ルヘシ之ヲ去ラント欲スルモ梁下ハ算珠足ラサル方故ニ梁下ニ一個ヲ増シ梁上ノ一顆即チ五個ヲ去リテ本桁ヲ三個ニ作り尋テ前例ノ如ク上位即十位ノ三個ニ一個ヲ増シテ四個トナス故ニ第二圖ノ如ク四十三個ヲ得ヘシ是ニ於テ三十七石ニ六石ヲ増ス片ハ即四十三石ナルヲ知ルヘシ

第三例 大豆七十三石ニ四十石ヲ増セハ幾何

第一圖



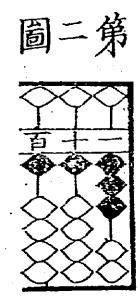
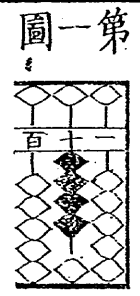
第二圖



先第一圖ノ如ク七十三石ヲ算盤上ニ置クヘシ次ニ其十位ノ七個ニ四個ヲ増サント欲スルモ算珠足ラサルカ故ニ六個ヲ去テ一個トナスヘシ然ラハ其桁ニ尚去タル六個ト増スヘキ四個ト合セテ十個アリ而シテ本桁即十位ノ十個ハ上位即百位ノ一個ナリ故ニ百位ニ一個ヲ作ルヘシ後チ單位ニハ増スヘキ數量ナキヲ以テ現

在三個ノ儘ニナシ置クヘシ故ニ第二圖ノ如ク百十三個ヲ得是ニ於テ七十三石ニ四十石ヲ増セ八百十三石ナルヲ知ルヘシ

第四例 大豆四十石ニ七十三石ヲ増セハ幾何



先第一圖ノ如ク四十石ヲ算盤上ニ置クヘシ次ニ其十位ノ四個ニ七個ヲ増サント欲スルモ算珠足ラサルカ故ニ三個去テ上位即百位ニ一個

ヲ作ルヘシ後チ單位ニ三個ヲ増サント欲セハ原量ナシ故ニ直ニ三個ヲ作り即第二圖ノ如ク百十三個ヲ得

是ニ於テ四十石ニ七十三石ヲ増セ八百十三石ナルヲ知ルヘシ

注意 第三例及第四例ハ一八七十三石ニ四十石ヲ増スト云ヒ一八四十石ニ七十三石ヲ増スト云フ事實及運算ハ異ナリト雖結果ニ至テ毫モ異ナルヲナキヲ熟知セシムヘシ

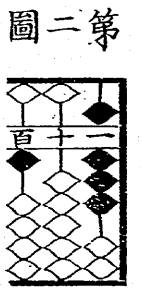
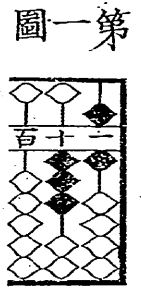
例題

一米六十六石ト十九石トヲ合セハ何程ナリヤ
 二米三十五石ト三十七石トヲ合セハ幾何
 三麻布八十三端ト八端トヲ集ムレハ幾何
 四木綿二十六端ニ二十七端ヲ加フレハ幾何
 五石板五十五枚ニ二十八枚ヲ増セハ幾何
 六石筆六十五本ニ五十本ヲ足セハ何程ナリヤ
 七魚六十尾ト八十三尾トヲ寄スレハ幾何
 八鯛六十六尾ト七十七尾トヲ寄スレハ幾何
 九鯛四十四尾ト八十七尾トヲ合セハ幾何
 十薪五十七束ニ八十七束ヲ合セハ何程ナリヤ
 十一炭二十七俵ト五十六俵ト九俵トアリ合セテ
 何程ナリヤ
 十二大豆四十五石ト三十七石ト五十一石トアリ
 合セテ何程ナリヤ
 十三小豆四十七俵ト七十俵ト二十六俵トヲ集ム
 レハ何程ナリヤ
 十四小麦三十石ト八十四石ト三十三石トヲ集ムレ
 ハ何程ナリヤ
 十五塩六十俵ト二十六俵ト四十八俵トアリ合セ
 テ何程ナリヤ

共金十六錢ト二十七錢ト二十錢ト十錢トアリ
 合セテ何程ナリヤ
 老瓦四十六枚ト三十八枚ト四十三枚トアリ合
 セテ何程ナリヤ

第三課 十位數ニシテ其一位或ハ各位
 ノ和上位ニ進ミ且零ヲ得ルモノ及諸算

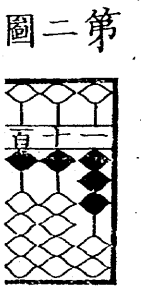
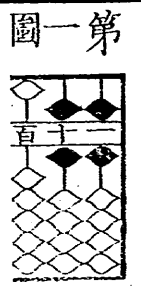
(第一例) 薪三十六束ニ七十二束ヲ合セハ幾何



先第一圖ノ如ク三十六束ヲ算盤上ニ置クヘシ

次ニ十位ノ三個ニ七ヲ増セハ第三編第二節ノ
 表ニ因テ三ニ七足スノ十ナルヲ知ル故ニ三個
 ヲ去テ上位即百位ニ一個ヲ作ルヘシ然ラハ十
 位ニ數量ナシ後チ單位ノ六個ニ二個増シテ八
 個トシ即第二圖ノ如ク百八個ヲ得
 是ニ於テ三十六束ニ七十二束ヲ合セハ百八束
 ナルヲ知ルヘシ

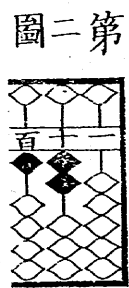
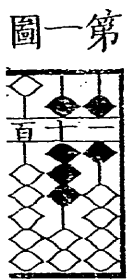
(第二例) 米六十六石ニ四十七石ヲ足セハ幾何



先第一圖ノ如ク六十六石ヲ算盤上ニ置クヘシ
 次ニ其十位ノ六個ニ四個増スヘシ然スルキハ
 本桁ノ六個ヲ去テ上位即百位ニ一個ヲ作ルナ
 リ而シテ本桁ニ數量ナシ後チ單位ノ六個ニ七
 個増スヘシ然ラハ即本桁ノ三個ヲ去テ三個ト
 ナシ上位即十位ノ數量ナキ所ニ更ニ一個ヲ作
 ルヘシ故ニ第二圖ノ如ク百十三個ヲ得
 是ニ於テ六十六石ニ四十七石ヲ足セハ百十三
 石ナルヲ知ルヘシ

第三例 米八十六石ト三十四石トヲ合セハ何

程ナリヤ



先第一圖ノ如ク八十六石ヲ算盤上ニ置クヘシ
 次ニ十位ノ八個ニ三個増スヘシ即本桁ヲ七個
 去テ一個トナシ上位即百位ニ一個ヲ作ル後チ
 單位ノ六個ニ四個増スヘシ即本桁ノ六個ヲ去
 テ上位即十位ノ一個ニ一個ヲ増シテ二個トス
 然ラハ即單位ハ數量ナクシテ第二圖ノ如ク百
 二十個ヲ得

是ニ於テ八十六石ト三十四石トヲ合セ八百二十石ナルヲ知ルヘシ

例題

一杉四十六本ニ六十本ヲ合セハ何程ナリヤ
 二松四十八本ニ六十一本ヲ合セハ何程ナリヤ
 三竹五十四本ニ五十三本ヲ合セハ何程ナリヤ
 四米六十五俵ト四十八俵トヲ寄スレハ幾何
 五麦四十六石ト六十七石トヲ集ムレハ幾何
 六木綿七十三端ト三十端トヲ合セハ幾何
 七花二十三本ト八十本トヲ寄スレハ何程ソヤ

八鷄二十五羽ト三十五羽ト四十二羽トヲ集ム
 レハ何程ナルヤ

九生徒三十四人ト四十九人ト十七人トアリ合
 セテ幾人ナリヤ

十鮪三十二尾ト二十九尾ト三十九尾トヲ合セ
 テ何程ナリヤ

十一絹三十五匹ト二十七匹ト四十八匹トアリ合
 セテ何程ナリヤ

十二鯛四十六尾ト二十四尾ト三十六尾トアリ合
 セテ何程ナリヤ

第四課 加法ノ定義ヲ附シ尋テ諸物相混シタル問題及諸算

如何ナルモノハ相
加ヘ得ヘ
キヤ
如何ナル
モノハ相
加フヘカ
ラサルモ
何故ニ異
種類ノモ
ノハ加フ
ヘカ
ラサル
ルヤ

第二節 前ニ示シタル如ク種類相同シキ諸數ハ加ヘ或ハ合スルヲ得レ氏若シ種類相異ナル

片ハ加ヘ或ハ合スルヲ得ス

假令ハ左ノ如キ問題アリ

生徒三人ト石五個アリ合セテ何程ナリヤ

右ノ三ト五トヲ合スレハ八トナルヘシ然レ氏

其ハハ生徒ノ數ニアラサレハ以テ八人トナス

ヘカラス又石ノ數ニモアラサレハ以テ八個ノ

石トナスヘカラス其基ク所人ト石トノ異ナル

ニ因テ三ト五トハ合シテ八トナスヘカラス

是ヲ以テ種類相同シカラサル諸數ハ加ヘ或ハ

合スルヲ能ハサルナリ

故ニ加法ノ意義ヲ定ムルヲ次節ノ如シ

第三節 加法ハ同種類ノ數ヲ合セテ一數ト

ナス方法ナリ

此合セ得タル數ヲ和ト云ヒ又總數ト云フ

加法ハ又別ニ加算或ハ寄セ算ノ名アリ

第四節 第三節ノ定義ニ因テ總テ異種類ノモ

如何ナルモノナリ
如何ナル
モノナリ
ヤ
如何ナル
モノナリ
フヤ
如何ナル
モノナリ
ソヤ
如何ナル
モノナリ
云々

何故ニ異
種類ノモ
ノモ加ヘ
得ルヤ

ノハ加フヘカラスト雖亦事實ニ因テ時ニ加ヘ
得ルコアリ即左ノ如シ

第一例 牛二十八疋ト馬五十八疋トアリ合セ
テ幾疋ナリヤ

答八十六疋

右問題ハ牛ト馬トハ異類ナレモ動物トメ類別
スルニ由テ共ニ相合スルヲ得ルナリ

第二例 大豆八石ト小豆三十六石ト麦七十六
石トアリ合セテ幾何石ナリヤ

答百二十石

右問題ノ大豆小豆麦ハ穀物トシテ類別スルカ故ニ
相共ニ合スルヲ得ルナリ

例題

一 麻布四十三端ト木綿三十五端トアリ合セテ
幾端ナリヤ

二 金魚二十七尾ト緋鯉三十六尾トヲ寄スレハ
幾尾ナリヤ

三 犬四十疋ト猴七十三疋トヲ集ムレハ幾何

四 粟三十六石ト黍四十五石トアリ合セテ幾石
ナリヤ

五 蘿蔔六十四本ト胡蘿蔔四十六本トアリ合セテ幾本ナリヤ

六 鉢七十三枚ト皿八十八枚トヲ集ムレハ幾枚ナリヤ

七 木綿八十三匹ト麻布二十七匹ト絹十五匹トアリ合セテ幾匹ナリヤ

八 酢二十八樽ト醬油三十七樽ト味噌五十六樽トアリ合セテ幾樽ナリヤ

九 釘四十本ト六十本及針五十六本アリ合セテ幾本ナリヤ

第五課 雜例

十位數ヨリ始メ尋テ百位千位ニ至リ兩數ノ和ヨリ漸次四數以上ニ至ルモノ及諸算

一 麥四十三俵ト三十五俵トヲ集ムレハ幾何

二 金二十七錢ニ三十六錢ヲ加フレハ幾何

三 金四十二錢ニ八錢ヲ増セハ何程ナリヤ

四 黍四十三石ニ三十六石ヲ足セハ幾何

五 金二十七錢ト五十八錢トヲ合セハ幾何

六 鯉百七十二尾ト五十八尾トヲ寄スレハ幾何

七 生徒百六十七人ト四十三人トヲ集ムレハ幾

人ナリヤ

八生徒百八十七人ニ教師八人ヲ加フレハ幾人ナリヤ

九米九十二石ト百六十九石トヲ合セハ幾何

十釘八百六十本ニ二百九十七本ヲ足セハ幾何

十一團扇二百八十四本ニ百八十八本ヲ足セハ何

程ナリヤ

十二机百八十五脚ニ三百五十八脚ヲ加フレハ何

程ナリヤ

十三大豆三百七十三石ニ二百八石ヲ増セハ幾何

十四小豆二百六十七石ト三百五石ヲ合セハ幾何

十五炭四百二十八俵ニ二百六俵ヲ増セハ幾何

十六團扇四百五十六本ト扇三百六十四本トヲ寄

スレハ幾本ナリヤ

十七塩二百六十四俵ト五百七十八俵トヲ合セハ

何程ナリヤ

十八毬三百八個ト四百十三個トヲ合セハ幾何

十九油五百八石ニ二百五十三石ヲ足セハ幾何

二十蘿蔔三百六本ト二百五十七本トヲ合セハ何

程ナリヤ

苧木綿三百六端ト四百九十五端ヲ合セハ幾何
苧竿三百九十七本ト四百四本ヲ合セハ幾何
苧手拭三十五筋ト四十九筋ト二十六筋トアリ
合セテ何程ナリヤ

苧筆七十八本ト八十九本ト六本トヲ合セハ何
程ナリヤ

苧石二百五十六個ト八十八個ト九個トヲ集ム
レハ何程ナリヤ
苧蠟燭七十五挺ト三百二十五挺ト六十四挺ト
アリ合セテ何程ナリヤ

苧米三百四十五石ト五百二十六石ト四十五石
トヲ合セハ何程ナリヤ

苧麦二百五十四俵ト七十七俵ト百六十九俵ト
ヲ合セハ何程ナリヤ

苧菜種七百五十四俵ト八俵ト百六十九俵トヲ
合セハ何程ナリヤ

苧紙鳶二十五枚ト四十八枚ト六十八枚ト八十
五枚トヲ合セハ總數如何

苧粟七十三石ト四十九石ト百六石ト五十九石
トアリ總數如何

世二黍二百五俵ト四百十八俵ト百二十八俵トア
リ合セテ何程ナリヤ

左ノ諸題ハ總テ或ル物ノ數量ナリ各其和
ヲ求ムヘシ

世五十八 二百六十六 三百八 七十五
世九十六 六百七十二 三千二百四十六
世五千四百七十二 二千三百二十八 三百六
世八百六十四 二千五十七 三百八十八
世五百七十四 三百八 七百七十三 四百九
十六 二百七十

世二百六十六 五百八十 三百四十五 六百
四十二 三百三十六
世三百八十七 六百 四百六十四 八十 五
百三十六
世三百七十 二千五百六十六 七百四十九
五百五十 千百二十八
世千七百四十二 四百三十八 二千三百三十
百八十七 二百五
世二千三百六十 三千七十二 六千六百五十
八 七百五十九 二千五

第六課 速算法

此問題ハ教師各數ヲ讀ミ聽セ生徒ヲシテ
 直ニ運算セシムルヲ要ス其讀ムヤ宜シク
 土地ノ慣習ニ從フヘシ假令ハ三百二十七
 圓ナリ又五百飛テ六圓ナリ或ハ少サク五
 十三錢ナリ等ノ如シ
 又四ノ韻ハ時ニ消ヘ七八一ニ九八六ニ類
 韻ノ爲メ相混スルコトアリ此ノ如キ場合ニ
 於テハ宜シク四圓七石九匁ノ如ク六或ハ
 九ノ韻ト異ニシテ呼フヘシ

一 三石	四 二十三錢	八 三十八	土 三十四石
六石	五 十四錢	四 十	四 十三石
五石	五 十八石	二 十七	六 十五石
二 三錢	六 十六石	九 五十六	二 十四石
四 錢	六 三十七石	五 十八	五 十石
七 錢	四 十四石	四 十六	土 五十圓
三 六石	五 十三石	十 二十七	四 十二圓
五石	七 十二石	二 十二	三 十九圓
七石	七 十九石	四 十五	二 十五圓
四石	四 十三石	七 十六	六 十圓

三百三十五	三百八	六百
七百七十三	六百七十九	六百七十五
五百五十三	六百七十六	三百八十八
五百四十五	四百九十九	五百三十六
三百三十七	五百五十七	三百六十九
六百四十二	九百六	八百七十二
六百七十三	五百八十八	六百五十八
三百七十六	三百四十五	七百五十九
九百五	六百四十二	五百七

三百九十四	八百九十二	二千三百七十九
六百八十七	九百七十九	九千九百六十五
五百四十五	六百八	八千四百七十
九百八十二	三百七十七	二千三百八十六
二百八十七	四百九十八	五千二百二十六
四百八	七百三十六	九千六百三十二
五百八十六	七百八十	七千九百二十三
四百二十九	六百二十四	八千三十四
八百六	九百八十七	九千四百十六

卷之三

三十五

九千三百七十九	二千九十三	三千六百二十三
三千七百六十六	七百八十五	七百九十七
三千七百五十四	九百六十六	四百三十八
四千七百七十九	百二十八	百三十四
三千七百八十五	四百三	九百十六
五千六百七十八	百八十七	四百九十六
九千十二	七百九十一	五百七十三
三千四百五十六		八百七十二

第七課 加法之應用

第五節 加法ヲ適用シテ某ノ事實ヲ解決スル

モノ之ヲ加法ノ應用ト云フ

第一例 或人家ヲ買フ其價建物ハ四十八圓ニ
 テ敷地ハ二十六圓ナリ此價何程ナリヤ
 右ハ建物ト敷地トヲ合セテ買フモノナリ故ニ
 建物ノ四十八圓モ拂フヘク又敷地ノ二十六圓
 モ拂フヘシ然ラハ四十八圓ト二十六圓トヲ合
 セテ七十四圓ヲ拂フナリ是ヲ以テ其家ノ價ハ
 建物ト敷地ノ價ヲ合セタルモノ即七十四圓ナ
 ルヲ知ルヘシ

第二例 或人茶二百四十六斤ヲ賣リ後又三百

三十七斤ヲ賣レリ然ラハ茶何程ヲ賣リシヤ
 右ハ始ニ二百四十六斤ト後三百三十七斤ト兩
 度ニ賣リシナリ然ラハ一度ニ二百四十六斤ト
 三百三十七斤トヲ賣ルモノトハ事實ニ於テ異
 ナレ氏數量ニ於テハ異ナルヲナシ故ニ二百四
 十六斤ト三百三十七斤トヲ相加ヘ即五百八十
 三斤ヲ賣リシナリ

第三例 生徒二百八十三人アル學校へ更ニ三
 十八人入學セリ然ラハ此學校ノ生徒幾人トナ
 リシヤ

右爾後ハ在來ノ生徒二百八十三人ト新入ノ生
 徒三十八人ト相俱ニ此學校ニアルモノナリ故
 ニ兩生徒數ヲ相加ヘ即三百二十一人ナルヲ知
 ルヘシ

例題

- 一 池ニ鯉三十五尾アリ今鮪百六十六尾ヲ放タ
 ハ此池ニ幾尾ノ魚アリヤ
- 二 或ル學校ニ男兒生徒三百五十四人女兒生徒
 百四十七人アリ此學校ノ生徒數何程ナリヤ
- 三 金三百六十五圓ト二百七十二圓ト四十五圓

トアリメテ何程ナリヤ

(註) メハ帳面或ハ勘定書付杯ニ用ル合計ノ意ナリ

四 或人米ヲ賣リテ七百四十圓ヲ得麦ヲ賣リテ

五百六十圓ヲ得タリ總得金如何

五 或都府ノ人口ヲ計フルニ男六万八千二百四

人女六万三千四百三十二人ナリ此都府ノ人

口何程ナリヤ

(註) 方位ノ十個ヲ十万ト云ヒ又其十個ヲ百万ト云ヒ尚又其十個ヲ千万ト云フ

六 金三万四千六百二十五圓ト六万三千四百七

十二圓ト八万三千五百七十圓ト六万二千七

十五圓トノノ高如何

七 倉ニ米六百七十六石ト麦三百四十二石ト大

豆小豆合セテ五百五十八石トアリ此倉何程

ノ穀物ヲ藏ムルヤ

第八課 加法之試験

第六節 一度加法ヲナシ尚其誤ノ有無ヲ試シ

シニハ左ノ如クスヘシ

既ニ加ヘシ諸數ノ順次ヲ錯雜シテ再ヒ之ヲ加

フヘシ而シテ其兩和異ナラサレハ誤リナク若シ異ナルキハ誤レルモノト知ルヘシ(第二課第三例及第四例ヲ参照スヘシ)

假令ハ二百六十四個ト三百七十五個ト四百二十七個トノ和ヲ求ムヘシ即千六十六個ヲ得此運算ノ誤ナキヤヲ知ラント欲セハ試ミニ左ノ諸題ヲ加フヘシ

- (一) 二百六十四 四百二十七 三百七十五
- (二) 三百七十五 二百六十四 四百二十七
- (三) 三百七十五 四百二十七 二百六十四

- (四) 四百二十七 二百六十四 三百七十五
- (五) 四百二十七 三百七十五 二百六十四

右諸題ノ和ハ何レモ千六十六ヲ得ルナリ故此運算ハ誤リナキヲ知ルヘシ此ノ如ク數多ノ變換ヲ盡サス凡只其一ヲ試ミテ以テ可ナリトス

例題

左ノ諸題ヲ合計シ且其正否ヲ試ムヘシ

- 一七五四十五 八百二 五百七十五
- 二四七七 三百四十九 八百七十六

1012014

三 二千六百九十二 五百四十三 七百三十六
四 八百二十三 五千七百九十四 六千九十六

小学珠算教科書卷之二 終

明治二十二年一月廿四日出版
全 年一月廿五日御届

定價九錢

出版者

鍵崎半三

全

野島守真

全

池善平

著述者

鈴木交茂

彫刻人

坂田万助

石川縣志族
同縣同區南町三十五番地
同縣同區上堤町四十四番地
同縣同區金沢區英町七十五番地
同縣同區川野金石味曾屋五番地
石川縣金沢區十間町十八番地

